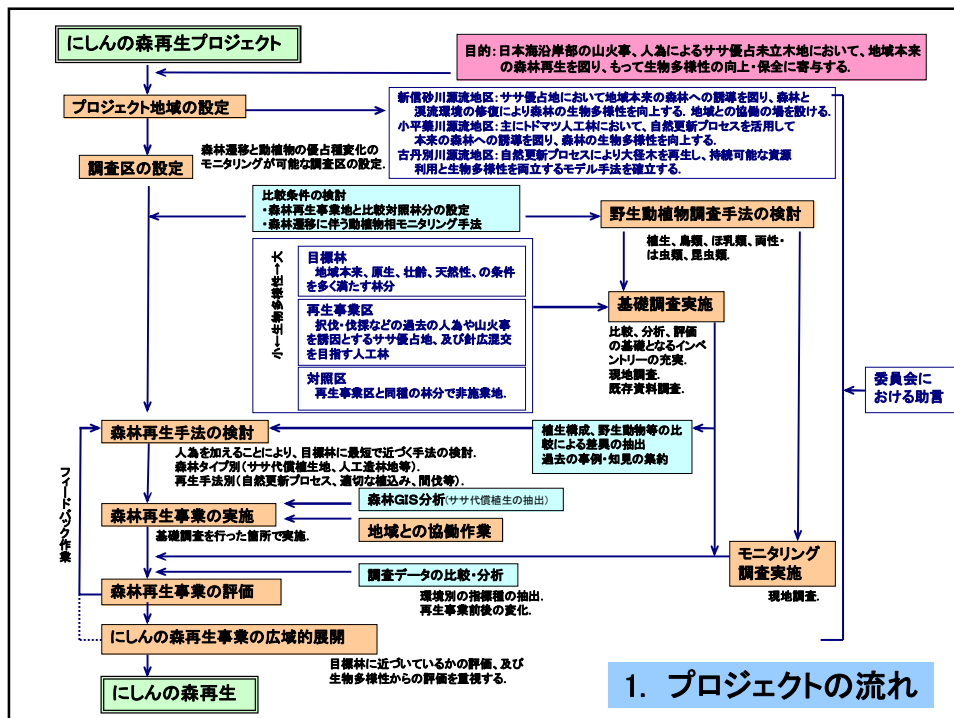


第8回生物多様性検討委員会 (平成21年2月20日)

北海道森林管理局



株式会社森林環境リアライズ

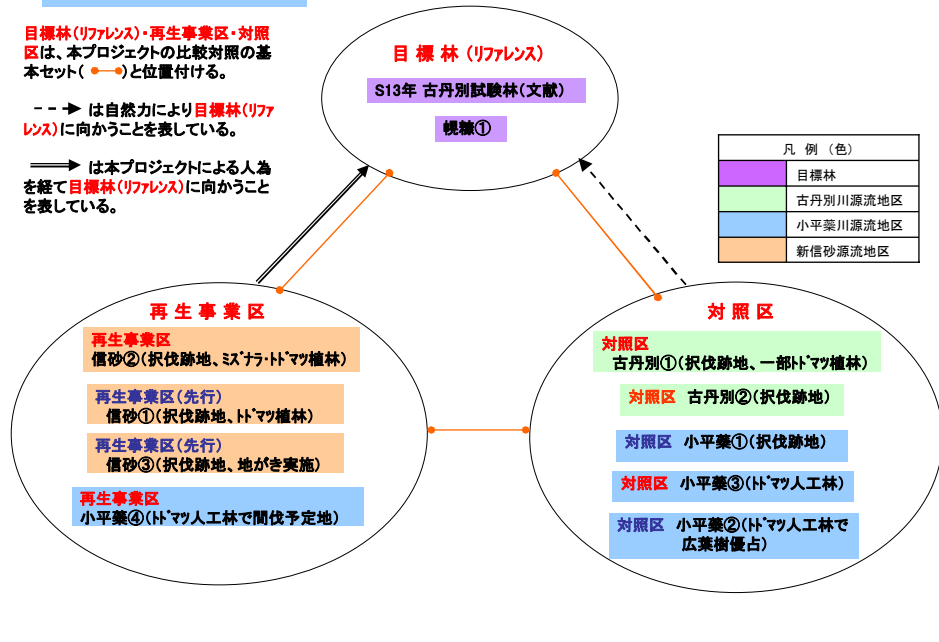


2. 調査区の区分

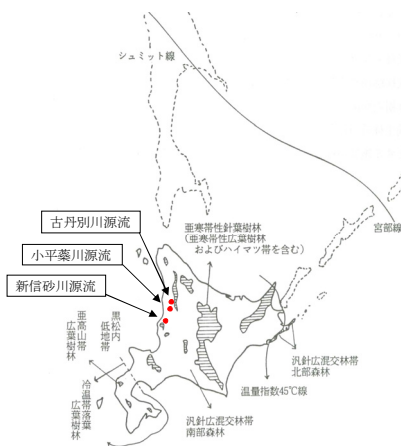
目標林(リファレンス)・再生事業区・対照区は、本プロジェクトの比較対照の基本セット(●→)と位置付ける。

---→ は自然力により目標林(リファレンス)に向かうことを表している。

==→ は本プロジェクトによる人々を経て目標林(リファレンス)に向かうことを表している。



● 植生区分



調査区の植生区分(環境省: 現存植生図より)

帯状区	標高(m)	植生区分1	植生区分2
目標林			
S13年古丹別	210	ブナクラス域自然植生	下部針広混交林
視線①	120	ブナクラス域自然植生	エゾイタヤ・シナノキ群落
古丹別川			
源流	230	ブナクラス域自然植生	エゾイタヤ・シナノキ群落
古丹別②	320	ブナクラス域自然植生	エゾイタヤ・シナノキ群落
小平薬川			
源流	180	ブナクラス域自然植生	エゾイタヤ・シナノキ群落
小平薬①	100	植林地・耕作地植生	トマツ植林
小平薬②	100	植林地・耕作地植生	トマツ植林
小平薬③	100	植林地・耕作地植生	トマツ植林
新信砂川			
源流	370	ブナクラス域自然植生	下部針広混交林
信砂①	290	ブナクラス域自然植生	エゾイタヤ・シナノキ群落
信砂②	290	ブナクラス域自然植生	エゾイタヤ・シナノキ群落
信砂③	460	垂直帯・亜高山帯自然植生	ササ・ダケカンバ群落

北海道の森林区分